

第3章 山陰本線（益田～幡生）

2022年5月30日（月）から7泊8日の山陰本線の旅は、豪雨との対面もあったが、天や神のご加護に加え、地元の人のご支援などにより、当初の区間（益田～幡生、長門市～仙崎：営業キロ 161.5 km）を歩き終える。ただし、立ち寄り駅舎40駅中、“宇賀本郷駅”のみ通り過ぎ、全駅立ち寄りとは行かず誠に残念。得てして簡単な駅舎程、これまでの体験から未踏破となる事例が多々あった。その中で山陽本線の神代駅や羽越本線の北余目駅を思い出す。今回の宇賀本郷駅も地図で確認したところ正にそのパターンであった。



※益田駅と幡生駅が繋がる

今回の歩きもメイクドラマや印象に残る場面が多々あった。それが”歩き鉄の旅”の醍醐味かも知れない。例示すると次の通り。

①6月1日（水）、世界一ローマ字表示が短い飯井（いい）駅への路、誤って5km位ジョギングで引き返す場面に遭遇する。地元の人のお陰でリカバリーに成功する。



②6月2日（木）、貸切の状態、萩八景遊覧船に乗ることができる。



③6月2日（木）、萩城天守閣があった指月山頂上（標高143m）でカメラのロストに気付く。片道730mの道のりを2往復し、山の頂上の草むらに誤って落としてあるのをやっと発見し、胸を撫でおろす。やり遂げる力の大切さを改めて教えてもらう。



④6月2日（木）、東萩駅界隈の洒落た美味しい酒場（活魚料理「萩心海」）に出会う。



※店長の藤田巖氏と旅と酒で話弾む！！

⑤6月5日（日）、豪雨の中、小串～幡生（23.6 km）を必殺仕置人の心境で歩き抜く。この時、本州最西端の梅ヶ峠（うめがとう）駅に出会う。



⑥6月5日（日）、下関駅構内のスーパーで財布をロストしそうになるが、親切な方のお蔭でセーフとなる。瞬間的に10数年前の「東海道本線関ヶ原界隈の財布ロスト事件」を思い出した。

今回の歩きで通算営業キロは、**1万3千436 km**（活動日数656日、日本の鉄道の**48.5%**、地球円周の**33.5%**）となる。なお、地球円周の3分の1超えは、**6月1日（水）三見（さんみ）駅**で達成する。



※三見駅で地球円周の3分の1（1万3千334km）樹立だ！！

第2節 旅プラン

山陰本線の旅（益田～幡生、仙崎～長門市:営業キロ 161.5 km）

○5月30日（月）雨

のぞみ13号 新横浜 8:10 → 新山口 12:16

スーパーおき4号 新山口 13:01 → 益田 14:36

益田～戸田小浜（9.8 km）

戸田小浜 17:59 → 東萩 18:58



東萩泊（萩トラベルイン：0838-25-2640）

○5月31日（火）小雨／晴れ

東萩 6:22 → 戸田小浜 7:24

戸田小浜～飯浦～江崎～須佐～宇田郷～木与～奈古（35.9 km）

奈古 18:43 → 東萩 18:58

東萩泊

○6月1日（水）晴れ

東萩 7:07 → 長門市 7:46

長門市 7:56 → 仙崎 8:00

仙崎～長門市～長門三隅～飯井～三見～玉江～萩～東萩（29.8 km）

東萩泊（27.6+2.2=29.8 km）

○6月2日（木）晴れ

東萩 6:22 → 奈古 6:38

奈古～長門大井～越ヶ浜～東萩（11.8 km）

萩観光（松下村塾、松陰神社、萩・明倫学舎、萩八景遊覧船、萩城跡）

東萩泊

○6月3日（金）晴れ

東萩 7:07 → 長門市 7:46

長門市～黄波戸～長門古市～人丸～伊上～長門栗野 (22.5km)

長門栗野 17:04 → 下関 18:35



下関泊（東横イン下関海峡ゆめタワー前：083-234-1045）

○6月4日（土）晴れ

下関 5:39 → 長門栗野 7:11

長門栗野～阿川～特牛～滝部～長門二見～宇賀本郷～湯玉～小串 (28.1 km)

小串 16:40 → 下関 17:25

下関泊

○6月5日（日）雨／豪雨

下関 7:26 → 小串 8:08

小串～川棚温泉～黒井村～梅ヶ峠～吉見～福江～安岡～
梶栗郷台地～綾羅木～幡生 (23.6 km)

幡生 16:44 → 下関 16:49

下関泊

○6月6日（月）曇り

下関 10:01→新下関 10:10

こだま 848号 新下関 10:39 → 新山口 11:00

のぞみ 24号 新山口 11:50 → 新横浜 15:56

第2節 1日目：5月30日（月）：益田～戸田小浜 雨

2022年5月30日（月）雨、山陰本線の旅の第1日目は、新幹線のぞみとスーパーおきを乗り継いで、益田駅まで移動する。名古屋辺り位までは天気がよかったが、次第に曇りマークとなり、新山口駅からの益田駅まで続く山口線では雨模様となる。山口線は2020年8月以来2度目の乗車である。この時は、出雲市から新山口までスーパーおきで移動した。概ね鉄道に沿って幹線道路が続いていた。将来余裕が出来れば歩きたいものだ。新山口駅と津和野駅をデジカメに収める。



※珍しい修学旅行車両と対面、乗車券と特急券、新山口駅



※新幹線改札口前の味善（あじよし）、在来線への通路（乗り継ぎに少なくとも10分は要する）



※スーパーおき（2両編成）、新山口駅



※山口駅、津和野駅

益田駅には14時36分到着。駅構内のコンビニでビニール傘を購入して臨む。新山口駅の駅員さんの話とは大きく異なり、駅前から国道191号線にかけて賑やかな街並みが続いていた。東萩駅へのダイヤは17時47分までなかった。それ故、これから戸田小浜までの営業キロ9.8kmの挑戦（今回の歩きで最大の区間）はタイムリーであった。しかし、一方では、9.8kmを約3時間で歩くことを余儀なくされ、心身ともにプレッシャーを感じる一日でもあった。



※益田駅



※フコク生命益田営業所、益田市の街並み、高津大橋

ビニール傘をさし、益田駅を14時40分スタートする。14時51分、国道191号線に出る。フコク生命益田営業所が近くにあった。15時12分、万歩計で570歩ある高津大橋（高津川）を渡る。16時13分、三里ヶ浜を通過。その先に下関156 km、長門86 km、萩56 kmと記した道路標識があった。16時23分、春日神社で本日の安全を祈願する。17時、喜阿弥跨線橋を跨ぎ、鉄道の左側となる。



※民家が消える、三里ヶ浜、春日神社

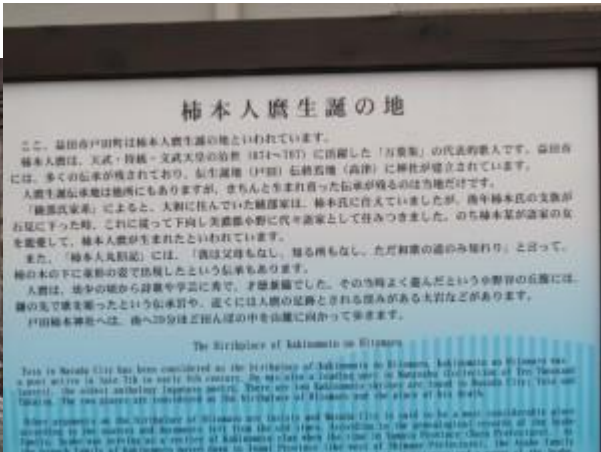


喜阿弥跨線橋への路

暫く歩くと、住宅街が広がる。17時13分、戸田小学校前を通過。戸田小浜駅には17時22分到着。駅前には、柿本人麻呂生誕の地の記念碑などがあった。東萩方面の時刻（17時59分）を益田駅の時刻（17時47分）と勘違いしてインプットされていた。12分の余裕を察知していたら、もう少し余裕をもって歩けていただろう。少し後悔が残った。



※戸田小学校、戸田小浜駅



※柿本人麻呂生誕の地





※長門市行き車両がやって来る

17時59分の列車で東萩駅に向かう。今の季節日が長いので、車窓から明日以降の道筋を観察できラッキーであった。山と海岸線が絡み要注意箇所も多々登場した。そんなことを考えているうちに東萩駅には18時58分到着。萩トラベルインには19時18分到着。



※東萩駅、萩トラベルイン

ホテルで食事処やコンビニを教えてもらおう。ホテルから10分位歩いた定食”いすず”で本日の疲れを癒す。明日の0時から8時まで魚釣りをするという若者と知り合う。



※いすずで明日からの英気を養う！！

第3節 2日目：5月31日（火）：戸田小浜～奈古 小雨／晴れ

2022年5月31日（火）小雨／晴れ、山陰本線の旅の二日目は、戸田小浜駅から奈古駅までの営業キロ35.9kmに挑戦する。営業キロ35km越えは、2019年9月9日（月）の紀勢本線（切目～広川ビーチ：35.8km）以来久し振り。終着駅の木与駅に16時28分到着。次のダイヤは18時43分。2時間15分待ち時間が

生じた。この時間を有効利用するため、急遽 4.6 km先の奈古駅に終着駅を変更する。地図で確認したところ、木与駅から奈古駅までは鉄道に沿った路筋であったので、路に迷う恐れはないと判断し、上方修正する。結果大成功で萩での6月2日半日観光が可能となる。



※東萩駅



※戸田小浜駅

東萩駅 6時22分の始発の列車（1両編成、非電化、単線）で戸田小浜駅まで移動する。須佐駅や江崎駅で高校生の乗下車があった。木与駅などで離合による待ち合わせがあった。益田駅には駅員はいたいたが、戸田小浜駅から東萩駅にかけて、駅員の姿はなかった。観光の町である東萩駅では、観光案内のスタッフが昼間の時間帯のみ臨時に駅員代行をしているとのことであった。

本日の各駅舎到着時刻は次の通り。

戸田小浜（7:26）～飯浦（8:45）～江崎（10:28）～須佐（12:10）～宇田郷（14:39）
～木与（16:28）～奈古（17:32）

①戸田小浜駅を7時26分スタート。鉄道に沿って、民家が広がっていた。7時38分、小浜踏切を横切り、鉄道の右側となる。本日は、傘を持参するか否か迷

ったが、安全を期し持参することとした。結果大成功。7時44分、小雨となるが、10分位して上がる。7時56分、西小浜踏切を横切り、鉄道の左側となる。8時11分、右手に線路があり安堵する。その先で鉄道を跨ぎ、線路の右側となる。瞬間的に国道191号線に出るが、直ぐ海岸線沿いの道筋に変更する。8時21分、人形岩眺望所前を通過。8時37分、飯浦八幡宮で本日の安全を祈願する。飯浦駅には8時45分到着。道路から坂道を登った先にあった。



※戸田小浜駅界限、小浜踏切、海岸線が見えて来る



※西小浜踏切、人形岩眺望所



※益田十景



※飯浦八幡宮、飯浦駅



※飯浦駅、田万川トンネル

②8時50分、国道191号線に合流する。温度計は19℃とあった。9時10分より全長403mある田万川トンネルを通過する。トンネルを出ると、島根県から山口県となる。9時20分、雨は上がる。9時38分、下関148km、萩44km、須佐9kmと記し道路標識前を通過。9時58分、道の駅”ゆとりパークたまがわ”前を通過。10時3分、万歩計で173歩ある姿橋（田万川）を渡る。10時20分、田万川中学校前で右往左往する。運よくパトカーが通りかけたので、江崎駅の方角性を聞く。「直進して左折した先にあります」と教えて頂く。江崎駅には10時20分到着。この境界は合併で豊北町から萩市となったとのこと。



※下関まで 148 km地点、江崎駅への路



※江崎駅

③直進する方向は津和野とあったので、美容室にお邪魔し、須佐駅への方向をお伺いする。「国道 191 号線に合流して下さい」と教えて頂く。先程右往左往した箇所を反対方向に進行した先で国道に合流する。11 時 20 分、薄曇りから晴れマークとなる。12 時 7 分、下関 140 km、長門 62 km、萩 35 km と記した道路標識前を通過する。須佐駅には 12 時 10 分到着。駅構内の物産店でイカ饅頭を購入し、昼食とする。この駅も萩市であった。



※須佐駅への路、下関まで 137 km地点



※須佐駅



※イカ饅頭

④12時26分、JR線下潜る。12時28分、笠松神社前を通過する。ここから奈古駅到着まで7つのトンネルと遭遇する。12時47分より、714mある須佐トンネルを通過する。13時12分から約20分要し、大刈トンネル(1,469m)を通過する。13時33分、今話題の阿武町に入る。13時37分より3番目の小刈トンネル(148m)を通過する。13時42分、下関134km、長門56km。萩30kmと記した道路標識前を通過。14時1分、260mある4つ目の惣郷トンネル前に到達。今回初めて沿線での列車(益田方面)と対面する。ダイヤが少ないのでやむを得ないが。14時33分、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。その先に海岸線に沿って宇田郷駅があった。辺りには民家は殆どなかった。



※下関まで135 km地点、須佐トンネル、大刈トンネル



※宇田郷駅への路、宇田郷駅



※宇田郷駅

⑤5つ目の宇田トンネル（113m）前に14時47分到着。15時8分、下関129 km、長門51 km、萩25 kmと記した道路標識前を通過。15時16分、6つ目の井部田トンネル（317m）前に到達。そして、7つ目の田部トンネル（538m）を15時37分より通過する。このトンネルを出ると、民家が多くなる。16時28分、木与駅に到着する。宇田郷駅と同様国道に面してあった。ここで当初は終わりの予定であったが、待ち時間の関係から4.6 km先の奈古駅に上方修正する。



※宇田トンネル、下関まで129 km地点、美しい海岸線



※下関まで123 km地点、美しい海岸線



※木与駅

San-in Line Timetable		San-in Line Timetable	
益田・浜田 方面 for Masuda, Hamada		東萩・長門市 方面 for Higashi-Hagi, Nagatoshi	
4		4	
5		5	
6	45-	6	44-
7		7	20-
8	7-	8	40-
9	4-	9	
10		10	21-
11		11	
12		12	
13		13	
14	23-	14	0-
15		15	59-
16		16	
17	21-	17	
18	39-	18	37-
19		19	
20	46-	20	0-
21		21	
22		22	
23		23	

※木与駅時刻表

⑥16時38分、JR線を跨ぎ、鉄道の右側となる。しかし、暫く歩いた先で再度鉄道を跨ぎ、鉄道の右側となる。急に辺りは賑やかになる。16時46分、下関123 km、長門43 km、萩19 kmと記した道路標識前を通過。17時25分、阿武小学校前を通過。温度計は24℃であった。奈古駅には17時32分到着。この駅で約1時間の待ち時間が生じるが、この駅で打ち止めとする。



※下関まで118 km地点、阿武小学校



※奈古駅



※奈古駅

⑦18時43分の列車でホテルがある東萩駅（18時53分到着）に向かう。ホテルで汗を流した後、20時頃、昨日お邪魔した定食”いすず”で本日の疲れを癒す。





※美味しい海の幸を頂く

第4節 3日目：6月1日（水）：仙崎～東萩 晴れ

2022年6月1日（水）晴れ、山陰本線の旅の三日目は、仙崎駅から東萩駅までの営業キロ 29.8 kmに挑戦する。しかし、長門三隅駅から飯井（いい）駅への道筋、長門三隅駅で30分位行った先で、誤った道筋を進行したため、5 km位引き返す場面に遭遇する。また、くねくねした山道を経由したこともあり、実際には少なくとも40 km位は歩いたような気がする。万歩計も8万歩を超える一日となった。因みにこれまでの万歩計の最高は、2013年8月15日（木）、予讃線（伊予長浜～松山：営業キロ 38.7 km）の踏破の際の9万5千392歩である。



※いざ出発！！井上勝翁（日本最初の鉄道開通に貢献）、東萩駅の構内写真一杯



※東萩駅、仙崎駅

長門市駅から仙崎駅までの区間（営業キロ 2.2 km）も時刻表で調べたところ山陰本線であることが判明し、急遽、本日の歩きプランに加える。車窓から見える風光明媚な海岸線を見ながら、長門市駅に向かう。長門市駅で仙崎駅までの車両を勘違いする場面が生じる。東萩7時7分発の列車（2両編成）は長門市駅経由で同一列車であった。しかし、不案内のため、隣のホーム（小串方面）に乗り換えようとする。駅員さんに聞いて、先程乗った車両が仙崎まで向かう

ことが判明する。長門市駅は厚狭（あさ）に繋がる美弥線が合流しており、駅員の姿があった。益田駅以来の風景であった。



※仙崎駅、安倍晋三氏のポスター

本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

仙崎（8時2分）～長門市（8:43）～長門三隅（10:05）～飯井（14:23）～三見（16:05）～玉江（18:04）～萩（18:45）～東萩（19:40）

①仙崎駅を8時2分、長門市駅に向けて出発する。方向性を誤らないよう、線路に近づいて確認する。8時17分、田屋第3踏切を横切ろうとするがNGと判断し渡らず。8時19分、田屋の六地藏前で本日の安全を祈願する。8時21分、蓮祖神前を通過。8時43分、長門市駅に到着する。



※長門市駅への路、齋木病院（高校先輩と同一苗字）、蓮祖神



※長門市駅への路、長門市駅

②長門市駅から下関方面や美弥方面に行かないよう、細心の注意を払う。8時53分、幹線道路に出る。しかし、この道路は国道191号線ではなかった。少し引き返し、9時8分、長門市緑ヶ丘交差点で国道191号線に合流する。9時20分、長門市仙崎で下関から81km地点を通過する。9時40分、沢江踏切で長門市方面に向かう列車と対面する。9時41分、国道191号線から県道281号（長門三隅線）長門市三隅下への道筋を歩く。9時56分、浅田小学校があった。10時5分、益田84km、須佐56km、萩21kmと記した道路標識前を通過。長門三隅駅には10時16分到着。



※長門三隅駅への路



※長門三隅駅への路（浅田小学校）



※長門三隅駅

③10時27分、鶯の鳴き声が木々の茂みから聞こえて来る。長門三隅駅から暫く歩いた先で、線路の方向性が木々や住宅街などが邪魔して見えず右往左往する。迷った結果、多少遠回り覚悟で線路に近づく。10時40分、広田第2踏切を横切り田圃道を歩く。10時45分、国道191号線に合流する。11時6分、益田80km、須佐53km、萩18kmと記した道路標識前を通過。この境界で飯井への表示（左折）があったのにも関わらず、誤って国道191号線を直進する。





※この界限で誤った方向に進行、既に誤った路を進行



※宗頭で誤り発覚

11時30分、上中小野バス停（防長バス）まで進行。左折すべき交差点から誤って宗頭界限まで5km位進行する。もうそろそろ飯井駅が近いと思うが、一向に飯井駅は見えぬ。運よく食料品のお店があったので、飯井駅への方向性をお伺いする。「とんでもない方向に来ています。このまま真っ直ぐ進行すれば萩駅には到着できますが、飯井駅には到着できません。5km位引き返す必要があります」と教えて頂く。頭の中が真っ白となる。しかし、誤りが分かりよかった。早速歩きからジョギングに切り替え、県道64号の交差点まで必至に走る。後日地図で確認したところ、4km位北に飯井駅があった。しかし、山があり、飯井駅には行けないところまで来ていた。



※リカバリーへの路

12時45分、高速道路下を通過。12時55分、飯井駅へ繋がる交差点に到着。13時6分、前方に線路を見つけ安堵する。また、13時10分、今歩いている路が県道64号線（萩三隅線）と判明し更に安心する。県道64号線は山間に突入し次第に細くなる。14時12分、道路下に線路が見え安堵する。14時18分、鉄道下

を潜り、鉄道の内側となる。14時20分、長門市から萩市となる。その先に世界一ローマ字表示が短い飯井駅（14時23分：II）があった。道路から10m位上った先に駅舎があった。長門三隅駅から飯井駅までの6.4kmに何と4時間18分要す。しかし、ここから三見駅への道筋も苦労する。



※県道 64 号線を見つけ安堵する



※飯井駅への路



※飯井駅

④三見駅（さんみ）を”みつみ”と勘違いして記憶していたため、長門三隅駅（みすみ）と解釈し、想定外の道筋を地元の人に教示頂き、混乱する。それ故、飯井駅をそのまま進行すべきところをとんでもない路筋を教えてもらい混乱する。ここでも15分位ロスタイムが生じる。14時47分、飯井踏切があるがパスする。15時23分、15時26分、山陰道高速道路下を潜る。途中、田植えをしている方に三見駅を伺う。ここでも呼び名を誤って発音したため、長門三隅駅への道筋となる。地図をお見せし、自分が誤って記憶していることに気付く。ここから、三見駅は随意分遠かった。一時は三見駅は通り過ぎたと思ったが、16時5分、待望の三見駅がありホットする。



※三見駅への路



※三見駅への路遠し！！



※三見駅

⑤玉江駅への道筋も県道 64 号線を歩く。風光明媚な海岸線を鑑賞しながら、実に 6 つの踏切を経由しながら玉江駅に向かう。途中、3～4 台の車と対面する。17 時 36 分、海平山踏切を横切り鉄道の左側を歩く。18 時 2 分、田舎の故郷にある円錐形をした白山のような山（面影山）と対面。18 時 4 分、玉江駅に到着。丁度益田方面に向かう列車が到着やって来る。

1	河内第井踏切	16:36
2	青長谷第3踏切	17:04
3	青長谷第1踏切	17:08
4	小原踏切	17:23
5	長迫踏切	17:26
6	海平山踏切	17:36



※玉江駅への路



※青長谷第 3 踏切、風光明媚な海岸線を歩く



※風光明媚な海岸線、最後の海平山踏切を横切る



※玉江駅への路



※玉江駅



※玉江駅

⑥18時11分、万歩計で42歩ある沖田橋（玉江川）を渡る。橋本川に沿って歩いた先に萩駅（18時45分）があった。萩駅を色々な角度から写真撮影する。



※面影山、橋本川に沿って歩く



※萩駅





※萩駅

⑦萩駅前の道筋を直角に進行する、18時58分、金谷天満宮前を通過。19時3分、213歩ある橋本橋を渡る。19時20分、土原交差点で国道191号線に合流する。19時29分、萩東中学校前を通過。19時34分、萩トラベルイン前を通過。19時35分、万歩計で251歩ある萩橋（松本川）を渡る。東萩駅には19時40分到着。駅前のおしゃれ茶屋で本日の疲れを癒し、本日は閉幕となる。



※東萩駅への路、金谷天満宮、指月山の夕日



※萩市の街並み、萩東中学校



※東萩駅



※おしゃれ茶屋で祝杯